

RCM ニュースレター

グラスルーツリサーチ レポート

March 2008

当資料に記載されている内容は、金融商品取引法に規定された「広告」に該当しますので、下記の事項をご確認ください。

金融商品取引業者の商号： アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社

当社は、投資助言・代理業、投資運用業の業務を行う金融商品取引業者であり、登録番号は以下のとおりです。

関東財務局長(金商)第424号

社団法人 日本証券投資顧問業協会に加入

投資顧問契約および投資一任契約の対価とリスクについて

1. 対価の概要について

当社の提供する投資顧問契約および投資一任契約に係るサービスに対する年間報酬は、最終的にお客様との個別協議に基づき決定いたします。

投資一任契約に係る報酬以外に有価証券等の売買委託手数料、投資対象資産が外国で保管される場合はその費用、その他の投資一任契約に伴う投資の実行・ポートフォリオの維持のため発生する費用はお客様の負担となりますが、これらはお客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)を通じてご負担頂くことになり、当社にお支払い頂くものではありません。これらの報酬その他の対価の合計額については、契約資産額・保有期間・運用状況等により異なりますので、表示することはできません。

2. リスクの概要について

投資顧問契約に基づき助言する資産又は投資一任契約に基づき投資を行う資産の種類は、お客様と協議の上決定させていただきますが、対象とする金融商品及びデリバティブ取引等は、様々な指標等の変動の影響を受けます。従って、投資顧問契約又は投資一任契約の対象とさせて頂くお客様の資産において、元本欠損を生じるおそれがあります。

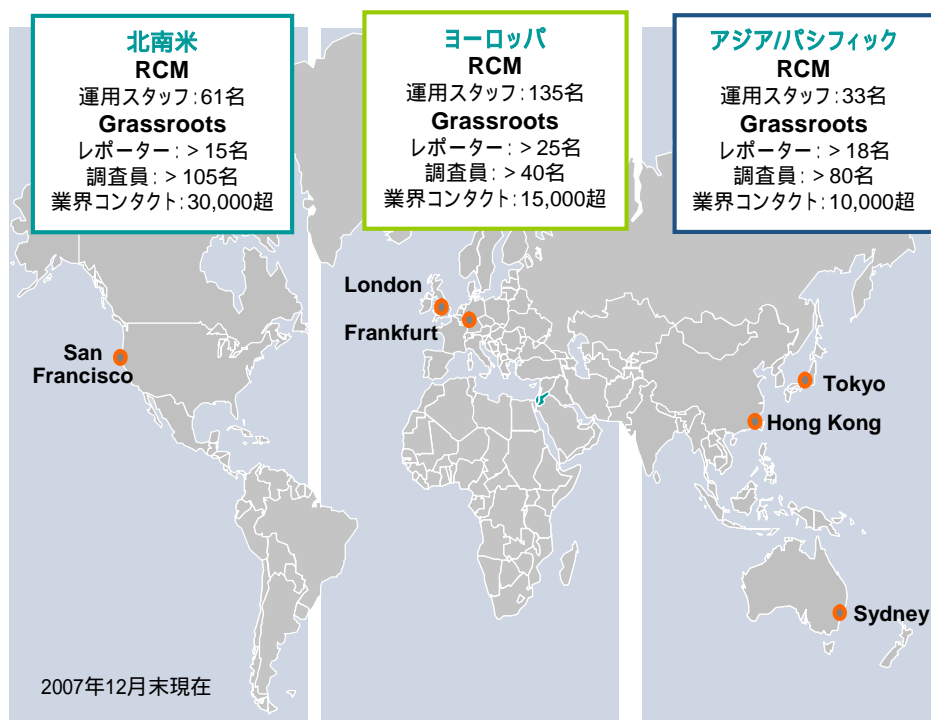
以上

RCMは、ドイツを本拠とするアリアンツ・グローバル・インベスターズのグローバル株式運用部門です。運用資産は1,680億米ドル(18兆7656億円)、従業員数は593名(うち、232名が運用関連スタッフ)、サンフランシスコ、フランクフルト、ロンドン、東京、香港、シドニーに運用拠点を有しています。(2007年12月末現在 米ドル=111.7円換算)

グラスルーツ・リサーチは、RCM独自の調査部門で世界中に300名以上の市場調査員/レポーターが、アナリストによるファンダメンタル・リサーチを補完するために、調査対象の収益機会及びリスクの両方について、通常の株式リサーチとは異なる側面から調査を行っており、20年以上の実績があります。

調査の中から毎月旬な情報をお届けします。

RCMとGrassroots® (グラスルーツ) リサーチについて



グラスルーツ・リサーチの流れ

アナリストやポートフォリオ・マネージャーからの依頼を受け、個別銘柄やセクターについての調査を行います。プロジェクト・マネージャーが調査を統括し、レポーターやフィールド調査員が業界(市場)の情報源~コンタクト~から、投資対象候補に影響を及ぼす市場トレンド、競合環境、ビジネス展開などに関する情報を収集しています。消費関連、小売り、医薬品、通信サービス、情報技術、レジャー産業などでは、グラスルーツが特に有効です。

グラスルーツ・リサーチの優位性

- ・ 独自性
- ・ 銘柄やセクターに対するポートフォリオ・マネージャーの確信度の向上
- ・ ファンダメンタル分析を補完

世界のデジタルカメラ売上げ

調査対象: 家電店店長(米・欧・亜)

“デジタルカメラの第4四半期の売上げは、デジタル写真の普及の伸びにより全調査国で前年比で上昇”



調査によると、全調査国で第4四半期のデジタルカメラの売上げは値上げとデジタル写真の普及の伸びを受け、前年比で上昇した。米国の回答者によると、売上げは10%上昇、デジタルカメラの普及率が上昇し価格帯が下がったとのことだった。サムソン社の製品は他社製品と比べ若干安価な価格帯であったが、独以外の全調査国では第4四半期の売上げは前年比で上昇した。独における同社製品の売上げの伸びは、デジタルカメラ全体の伸びと同水準で推移しているとのこと。同社製品は、独は低価格層で、英は高価格層でのシェアを維持しながら低価格層で、米・中は両価格層でマーケットシェアをそれぞれ伸ばした。一方で仏はまちまちだった。同社製デジタルカメラの魅力として低価格、価格に対する画質や機能の高さ、さらに他の魅力的要素としてデザイン性、液晶ディスプレイそして使いやすさが挙げられた。だが同時に同社のブランド力の欠如から敬遠する客もいるとのことだった。価格について、同社製品は他社と比較して安い傾向があるが、第4四半期の価格設定は米・仏・中では全般的に、英では低価格層で他社商品と同水準であった。独は競合ブランドを意識した積極的な価格設定となった。同社の一眼レフカメラについては、1/3以上の回答店舗で取扱っているものの、高価格層製品における価格とブランド認知度の欠如が売上げの足を引っ張っていると答えた。事実ほとんどの回答者がキヤノンやニコンが占める一眼レフカメラ市場への参入は同社にとって困難だろうと感じている。

世界の高級腕時計需要

調査対象: 高所得層向けのアクセサリ店(米・欧・亜)

“07年の高級腕時計売上げは、まちまちだった米国を除き、全調査国で前年比で上昇した”



調査によると、米国を除く全ての調査国で07年の高級腕時計の売上げが前年比で上昇、米国ではまちまちだった。価格帯別の売上では中国を除く全ての調査国で3,000米ドル以下の商品は期待を上回る売上げ、3,000から8,000米ドルだとスイス・中を除く全調査国で期待通りの売上げ、16,000米ドル以上の商品はスイス・英・中ではほとんどの店舗、仏・香港は一部の店舗で期待以上の売上げだったとのこと。クリスマス商戦はスイス・中を除く全ての調査国では全体的に期待通りの売行きで、スイス・中は期待を上回った。人気のスタイルとしては、大きい文字盤が流行しており、そして高級市場では複雑な作りの時計の需要が高い。人気のブランドとして、Swatchグループの『Omega』が米・スイス・亜で最も人気が高く、『Longines』はスイス・亜で最も売れた。Compagnie Financiere Richmont社の『IWC』、『Jaeger-Le Coultre』、『Officine Panerai』は英・仏で人気がある。Rolexは世界中で最も売れているインディーズブランドとされた。それと同時に、『Raymond Weil』、『Titoni』、『Edox』、『Rado』やファッションデザイナー等手がけるインディーズブランドは人気を失いつつある。

ハーレー・ダヴィッドソン

調査対象: ハーレーダヴィッドソン販売店(米・欧・亜)

“現在在庫状況は、中・日・米で需要に対応しており、欧州は08年新モデルが不足”



調査によると、07年第4四半期の売上げは前年比で中・日・仏・独で上昇、英で横ばい、米では減少した。中・日では期待を上回る売上げで、独ではまちまち、仏・英・米ではやや期待を下回った。在庫は全調査国で07年モデルがほとんど残っていないとのこと。現在の在庫状況は中・日・米で需要に対応しており、一方で欧州は08年モデルの在庫不足が何件あった。事実全調査国の回答者がハーレー社の08年モデルは非常に好評だとし、仏・独・英では『Softail Rocker』、『Dyna Fat Bob』、『Sportster XR1200』が特によく売れると期待されている。さらに、08年Rockerモデルへの興味は高く、中国では105周年記念モデルが良く売れるだろうと予想されている。08年売上げは中・仏・独・英で国内経済の伸び、新モデルそしてハーレー社の新規顧客開拓能力が評価され前年比で上昇するだろうと見られている。日・米の08年売上げは経済と消費者心理の後退の影響を受けて、わずかな上昇と予想。07年第4四半期における08年新モデルの価格は前年比で横ばいかわずかに上昇した。中古バイクの価格は前年比で、仏・独・英は全般的に横ばい、米は低め、日では高めとなった。

中国 金属需要

調査対象: 金属業界関係者(中)

“アルミニウム、鉄鉱、鉄鋼、銅、亜鉛、モリブデンの平均需要は前年比で上昇すると見込まれている”



調査によると、08年の需要は急速な経済発展、インフラの改良そして工業化により、前年比でアルミニウムが14%、鉄鉱が12%、鉄鋼が12%、銅が8%、亜鉛が7%、モリブデンが5%伸びると予想される。一方、ニッケルの需要は横ばいとなると予想される。08年前期は銅、鉄鉱、鉄鋼が強い需要により不足が予想される。一方でアルミニウム、モリブデン、亜鉛は需要を満たすと予想される。ニッケルの供給量は需要と同程度もしくは上回るだろうと予想される。08年前期の平均価格は07年後期比で銅、鉄鉱、鉄鋼が上昇する見込みで、需要と供給のバランス的にモリブデンと亜鉛は横ばいかわずかに上昇し、アルミニウムとニッケルは横ばいか下落するだろうと見込まれる。中国の信用逼迫が、金属の需要と価格設定に与える影響は限定的だと回答者は予想している。一方、主要金属の輸出における関税の上昇は国内の金属供給レベルを左右する可能性があるとした。今後1~3年間における金属の需要と価格設定の傾向に影響する主要因として、中国の景気動向、政府による税金と関税の変更、製造コストの上昇、海上輸送コストの上昇が挙げられた。事実、Bhp Billiton社、Rio Tinto社、Cia Vale Do Rio Doce社による鉄鉱の売上げ増加は海上輸送コストを引き上げると予想されている。

ご留意事項:
 GrassrootsSMリサーチはRCMの一部門です。情報及び見解は事実及びレポート及びフィールド調査員からのその他の情報に基づいています。レポート及びフィールド調査員は独立契約業者として、RCMにリサーチ情報を提供している、またはその関連会社がRCMの顧客のために執行される発注による手数料により収益を得ているブローカー・ディーラーの業務を行っています。RCMではこれらの情報源は信頼性があり、誠実な情報を提供すると考えていますが、情報の正確性や完全性を保証するものではありません。RCMは当資料の更新、変更、修正の義務、または、当資料の内容の変更や結果として正確性が失われた場合に受領者に通知する義務を負っていません。さらに、当資料に反映されていない情報をRCMが有している場合があります。RCM及びその関係会社は当資料に含まれる情報によって直接的あるいは間接的に発生した損失や損害に対する責任を負わないものとします。RCM及びその関係会社、役員、顧客は自己のアカウントに保有する当資料掲載銘柄または関連銘柄に影響を与える、または、影響を受ける場合があります。作成会社の事前の承諾なく、当資料の一部または全部を使用、複製、転用、配付等することを禁じます。
 RCMはサンフランシスコ、ロンドン、フランクフルト、東京、香港、シドニーに運用拠点を有する資産運用会社です。日本におけるRCMは、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社として前述のとおり登録しています。
 本資料は情報提供を目的として、当社(アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社)の関係会社であるRCM Capital Management LLC(以下、「作成会社」)が作成した英文資料を当社が翻訳(または抄訳)したものであり、特定の証券や金融商品等の推奨や販売勧誘をするものではありません。翻訳(または抄訳)には正確を期していますが、必ずしも完全性を当社が保証するものではありません。また、抄訳の場合には、原資料の趣旨を必ずしもすべて反映した内容になっていない場合があります。本資料に記載されている内容は既に変更されている場合があります。また、予告なく変更される場合があります。本資料には将来の市場の見通し等に関する記述が含まれている場合がありますが、それらは資料作成時における作成会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、過去のパフォーマンスや動向は将来の収益や結果を保証するものではありません。作成会社の事前の承諾なく、当該資料の一部または全部を使用、複製、転用、配付等することを禁じます。

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社

登録番号: 関東財務局長(金商)第424号 社団法人日本証券投資顧問業協会会員番号 011-01236

問合せ先: アカウント・マネジメント・グループ 03-6229-0200(代表)